

# 事業報告

## I 法人の概況

### 1 設立年月日

平成8年3月22日

### 2 定款に定める目的

本公益財団法人は、東北地方に研究開発と産業開発の国際拠点を形成し、未来型産業社会を創造することを目標とした東北インテリジェント・コスモス構想に呼応し、自然科学研究に対する助成等を行い、もって学術の振興と地域の発展に寄与することを目的としています。

### 3 定款に定める事業内容

- (1) 自然科学研究に対する助成
- (2) 国際的研究交流に対する助成
- (3) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4 監督機関に関する事項

内閣府公益認定等委員会

### 5 会員の状況

種類	当期末	前期末比増減
賛助会員	9社	-1名

### 6 主たる事務所の状況

主たる事務所：宮城県仙台市青葉区南吉成六丁目6-3 ICRビル3階

## 7 役員等に関する事項

### 理事・監事

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
理事長	沢田 康次	非常勤	東北大学名誉教授
常務理事	齋藤 茂	常勤	事務統括
理事	植木 俊哉	非常勤	東北大学理事
理事	海野 道郎	非常勤	東北大学名誉教授
理事	藤本 篤史	非常勤	青森県商工労働部 新産業創造課長
理事	大庭 豪樹	非常勤	宮城県経済商工観光部 新産業振興課長
理事	白岩 靖史	非常勤	仙台市経済局産業振興課長
理事	久米 寿	非常勤	秋田県あきた未来創造部 あきた未来戦略課長
理事	和久津 英志	非常勤	新潟県産業労働観光部産業振興 課長
理事	西山 英作	非常勤	(一社) 東北経済連合会理事・産 業経済部長
監事	高橋 亨	非常勤	(株)インテリジェント・コスモス研究 機構 常勤監査役
監事	今野 薫	非常勤	東北六県商工会議所連合会常任 幹事

## 評議員

役職	氏名	常勤・非常勤 の別	担当業務・現職
評議員	尾坂 芳夫	非常勤	東北大学名誉教授
評議員	山村 明弘	非常勤	秋田大学大学院理工学研究科長
評議員	飯塚 博	非常勤	山形大学大学院理工学研究科長
評議員	長坂 徹也	非常勤	東北大学大学院工学研究科長
評議員	福村 裕史	非常勤	仙台高等専門学校長
評議員	出村 克宣	非常勤	日本大学工学部長
評議員	鎌土 重晴	非常勤	長岡技術科学大学副学長
評議員	松本 哲	非常勤	岩手県政策地域部科学 I L C 推 進室 科学技術担当課長
評議員	吉田 祐幸	非常勤	宮城県経済商工観光部長
評議員	遠藤 和夫	非常勤	仙台市経済局長
評議員	佐藤 譲	非常勤	山形県商工労働観光部 工業戦略技術振興課 科学技術政策主幹
評議員	宍戸 陽介	非常勤	福島県商工労働部産業創出課長
評議員	江部 卓城	非常勤	(一社)東北経済連合会常務理事 事務局長

## 8 職員に関する事項

平成 30 年度末現在

職員数		前期末 比較数	平均年齢	平均勤続年数
男子 (常務理事が兼務する 事務局長)	1 名	0	68 歳 3 か月	8 年 0 月

## 9 許認可に関する事項

平成 20 年 12 月に施行された公益法人制度改革により、平成 25 年 3 月に内閣総理大臣から公益財団法人として認定され、平成 25 年 4 月 1 日に公益財団法人インテリジェント・コスモス学術振興財団として登記を行いました。

## II 事業の状況

### 1 事業の実施状況

平成 30 年度は、東北インテリジェント・コスモス構想の下に、東北地域の自然科学研究に対する助成、国際的研究交流に対する助成事業を実施するとともに、平成 29 年度奨励賞受賞者の研究実績評価を行い、有望シーズの発掘を目的とした実用化研究助成として、継続助成を実施しました。

さらに、東北インテリジェント・コスモス構想を基礎とし、「東北に生まれる科学技術を推進し、東北文化の体系化とその発信」を図ることにより、東北を、我が国の科学技術と未来文化における頭脳エリアと新産業・文化の発信の拠点にし、我が国の繁栄秩序の構想に寄与していくことを目的として、東北が生み出した先見性のある文化を体系化して、内外に発信する優れた活動を「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」として顕彰する事業を開始しました。

また、財団ホームページの内容拡充を図ることにより、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進するとともに、「財団ニュース」を定期的に発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市・商工会議所等に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

#### (1) 自然科学研究に対する助成事業（定款第 4 条第 1 号）

- ① 東北 7 県の大学等の研究機関に所属している 40 歳（医歯薬系は 42 歳）以下の若手研究者を対象に、独創的研究開発の種（シーズ）を発掘するとともに、東北地域の活性化・発展に寄与するような研究を支援するため、下記 10 テーマに対して「インテリジェント・コスモス奨励賞」を授与し、併せて研究助成金を交付しました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
秋田大学	大学院理工学研究科附属革新材料研究センター	講師	山田 学	白金族リサイクルに向けた高選択性を有するパラジウム抽出剤担持型吸着樹脂の開発
東北大学	大学院工学研究科	准教授	小原 良和	閉じたき裂の高精度計測のための非線形超音波フェーズドアレイ映像法の開発
東北大学	大学院工学研究科	助教	藤本 裕	次世代X線CT用高性能ハロゲン化物シンチレータの創生
東北大学	材料科学高等研究所	准教授	熊谷 明哉	二次元材料の高効率水素発生領域の特定に向けたナノ電気化学イメージングの応用
東北大学	大学院工学研究科	准教授	好田 誠	半導体量子構造における電氣的スピン生成と長距離スピン輸送に関する研究
宮城県立がんセンター 研究所	発がん制御研究部	研究員	望月 麻衣	CD271による頭頸部がん増殖制御機構の解明と標的治療への応用
東北大学	大学院工学研究科	准教授	梶 弘和	マイクロ流路デバイスを用いる眼毛細血管障害モデルの開発
東北大学	大学院薬学研究科	助教	内田 康雄	薬物の脳内濃度の革新的予測戦略
東北大学	大学院薬学研究科	助教	川畑 伊知郎	新規V-1/CP複合体を標的としたアルツハイマー病・パーキンソン病根本治療の創薬研究
長岡工業高等専門学校	環境都市工学科	准教授	押木 守	エネルギー資源を生み出す排水処理技術の開発:液体燃料ヒドラジンN <sub>2</sub> H <sub>4</sub> の生産

## ② 実用化研究への助成 (@50万円×2テーマ)

東北地域における新産業創出の推進を図るため、平成29年度に行ったインテリジェント・コスモス奨励賞受賞者の研究実績報告書に基づき、実用化・事業化の観点から新事業創出の可能性があるものと認められる等の評価・調査を行い、評価が高いものに対し継続して助成を行いました。

大学等名	学部等名	職名	氏名	研究テーマ
長岡技術科学大学	物質材料工学専攻	准教授	多賀谷 基博	がん細胞を高感度・安全に可視化・治療する有機-無機協奏機能ナノ結晶の創製
福島工業高等専門学校	化学・バイオ工学科	准教授	尾形 慎	インフルエンザウイルスの種間伝達の解明を可能にするシアロ糖鎖ポリペプチドの開発

## (2) 国際的研究交流に対する助成事業（定款第4条第2号）

### 国際学会への助成（@10万円×5件）

国際的研究交流を東北地域全域において促進し、科学技術の発展と独自の学問の進歩向上に資するため、東北地域における各種国際会議5テーマに対して助成を行いました。

催事名	開催大学・実行委員会等 開催責任者(代表者)	開催期間
第4回保全科学と保全技術に関する国際会議（ICMST-Tohoku 2018） The 4th International Conference on Maintenance Science and Technology	ICMST-Tohoku 2018 国内組織委員会 東北大学 流体科学研究所・ 教授・高木 敏行	平成30年10月23日(火) ～ 平成30年10月26日(金)
ユニバーサル音コミュニケーション国際シンポジウム2018	東北大学電気通信研究所 鈴木陽一 (東北大学電気通信研究所・教授)	平成30年10月22日(月) ～ 平成30年10月24日(水)
XIV International Conference on Heavy Quarks and Leptons	山形大学 HQL2018LOC 千代 勝実(学術研究院・教授)	平成30年 5月28日(月) ～ 平成30年 6月1日(金)
第6回 国際スマートシステム工学会議	山形大学フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院 山形大学大学院理工学研究科 教授 落合 文吾	平成30年10月11日(木) ～ 平成30年10月12日(金)

14th International Symposium on High-Temperature Superconductor in High Frequency Field (14th HTSHFF2018)の開催	HTSHFF2018 実行委員会 山形大学・名誉教授・大嶋重利	平成30年6月4日(月) ～ 平成30年6月8日(金)
--	------------------------------------	-----------------------------------

### (3) その他の事業 (定款第4条第3号)

#### 東北文化の研究に対する顕彰事業

我が国の科学技術と未来文化における頭脳エリアと新産業・文化の発信の拠点にし、我が国の繁栄秩序の構想に寄与していくことを目的として、東北が生み出した先見性のある文化を体系化して、内外に発信する優れた活動を「インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞」として顕彰する事業を開始しました。

#### ホームページ等の充実

本公益財団法人の活動状況を広報し、事業活動の充実をしていくため、財団ホームページの充実を図り、公益法人としての責務である国民・社会への情報開示を推進しました。また、「財団ニュース」を発行し、東北地域の主な研究機関及び関係する県・市・商工会議所等に送付することにより、本財団の活動状況の浸透に努めました。

## 2 重要な契約に関する事項

該当なし

## 3 役員会等に関する事項

### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回理事会 平成30年5月14日	1 平成29年度事業報告(案)について	原案どおり承認
	2 平成29年度収入・支出決算報告(案)について	
	3 平成29年度監事監査について	原案どおり承認
	4 組織・運営規則の一部改正について	
	5 平成31年度事業に係る奨励賞等の公募内容について	原案どおり承認
	6 理事長及び常務理事の職務執行状況について	(報告事項)
	7 理事選任候補者について	(報告事項)
	8 評議員会の招集について	(報告事項)
		原案どおり承認

決議の省略による 理事会 決議があったもの とみなされた日 平成30年12月3日	1 東北地域文化の顕彰事業を実施する議案	原案どおり承認
第2回理事会 平成31年3月14日	1 インテリジェント・コスモス奨励賞等の選考について 2 インテリジェント・コスモス東北文化奨励賞の選考について 3 平成30年度事業執行状況について 4 平成30年度予算執行状況について 5 理事長及び常務理事の職務執行状況について 6 平成31年度事業計画（案）について 7 平成31年度収支予算（案）について 8 常務理事の報酬等に関する規程の一部改正について 9 選考委員会委員の選任について 10 研究報告書評価委員会委員の選任について	(報告事項) 原案どおり承認  (報告事項) (報告事項) (報告事項) 原案どおり承認 原案どおり承認  原案どおり承認 原案どおり承認 原案どおり承認

(2) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第1回評議員会 平成30年6月21日	1 平成29年度事業報告（案）について	原案どおり承認
	2 平成29年度収入・支出決算報告（案）について	原案どおり承認
	3 組織・運営規則の一部改正について	原案どおり承認
	4 理事の選任について	原案どおり承認
	5 評議員の選任について	原案どおり承認
	(報告事項)	
	1 平成30年度事業計画書について	
	2 平成30年度収支予算書について	
	3 奨励賞受賞者アンケートの結果について	



(3) 選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
第 1 回選考委員会 平成 30 年 7 月 4 日	報告事項 1 平成 30 年度助成事業について 2 第 17 回インテリジェント・コスモス奨励 賞授与式について 協議事項 1 第 18 回インテリジェント・コスモス奨励 賞推薦要項等について	原案どおり承認
第 2 回選考委員会 平成 30 年 11 月 22 日	1 選 考 (1) インテリジェント・コスモス奨励賞につ いての選考 2 協 議 (1) 国際学会への助成応募要項（案）について	9 件を選考  原案どおり承認
第 3 回選考委員会 平成 31 年 2 月 15 日	1 選 考 (1) 国際的研究交流に対する助成事業 国際学会助成の選考について 2 協 議 (1) 平成 31 年度助成事業について (2) 第 18 回インテリジェント・コスモス奨励 賞授与式等について	5 件を選考  前年度の事業継続を了承  授与式を平成 31 年 5 月 13 日 11 : 30~13 : 00 ホテル・メトロポリタン仙台 で実施する事務局案を了承

(4) 研究報告書評価委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
研究報告書評価委員会 平成 30 年 7 月 27 日 メール審議決議 平成 30 年 9 月 6 日	1 研究報告書の評価及び実用化研究助成候補 者の選考について	実用化研究助成候補者 2 名 を選定し、現地調査を経てメ ール審議で委員全員の同意 を得て選考を決定

(5) 東北文化奨励賞審査委員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
東北文化奨励賞 審査委員会 平成 31 年 3 月 6 日	1 東北文化奨励賞受賞候補者の選定について	東北文化奨励賞受賞候補者 を選定し、理事会に報告

4 正味財産増減の状況及び財産の状況

単位：千円

	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期	平成 30 年 3 月期	平成 31 年 3 月期
経常収益合計	8,785	8,685	8,684	8,684	8,584
経常費用合計	8,610	9,355	8,520	8,688	8,943
当期正味財産増減額	175	-670	164	-4	-359
資産合計	454,889	454,219	454,383	454,379	454,200
負債合計	0	0	0	0	0
正味財産	454,889	454,219	454,383	454,379	454,200

Ⅲ 法人の課題

法人会計のスリム化等により財団運営資金を確保すること。

Ⅳ 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するた  
めの体制

現行の、監事による監査体制を継続実施すること。

Ⅴ 株式保有している場合の概要

該当なし